

製品名: GBP1 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab11328

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	68kDa

抗原情報

遺伝子名	GBP1
別名	GBP1; Interferon-induced guanylate-binding protein 1; GTP-binding protein 1; GBP-1; HuGBP-1; Guanine nucleotide-binding protein 1
遺伝子 ID	2633.0
SwissProt ID	P32455
免疫原	抗血清はヒト GBP1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 71-120

背景

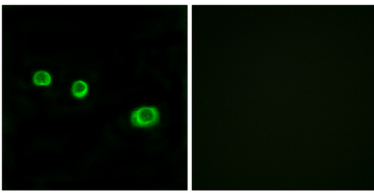
グアニル酸結合タンパク質の発現はインターフェロンによって誘導される。グアニル酸結合タンパク質は、グアニンヌクレオチド

(GMP、GDP、GTP) に特異的に結合する能力を特徴とし、GTP 結合タンパク質とは結合モチーフが3つではなく2つ存在する点で区別される。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]機能: GTP、GDP、GMP に結合する。誘導: マクロファージ活性化時のインターフェロン γ による。類似性: GBP ファミリーに属する。、

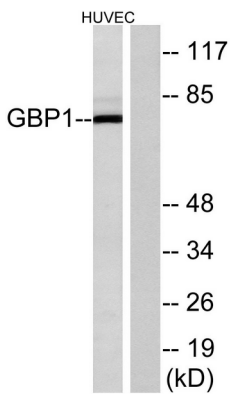
研究分野

免疫学

画像データ



GBP1 抗体を用いた MCF7 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。



GBP1 抗体を用いた HUVEC 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロックされている。